

日持ち保証に対応した 切り花の品質管理マニュアル

日持ち保証は欧米では一般的であり、切り花の需要拡大につながっています。日本国内で日持ち保証販売を進めるためには、夏季の高温に対応した技術開発が必要になります。また、ダリアやラナンキュラス等の新規品目では品質管理技術が未開発です。そこで、花き研究所では北海道など9機関と共同で、主要切り花30品目について、日本国内での日持ち保証に対応した品質管理技術を開発し、マニュアルに取りまとめ公表しましたので、その概要について紹介します。

☆ 技術の概要

1. 生け水の汚れにより日持ちが短縮しやすいバラとガーベラでは、糖質と抗菌剤の後処理（消費者段階の処理を想定した連続処理）により品質保持期間が延長し、日持ち保証が可能となります。
2. これまで有効な品質保持技術のなかったチューリップ（図1）では、6-ベンジルアミノプリン(BA)とエスレルを組み合わせた前処理（出荷前の短期間処理）および糖質と抗菌剤の後処理により、また、カラーではBAの浸漬前処理により品質保持期間が延長し、日持ち保証が可能となります。
3. 新規品目ダリアではBAの散布前処理および糖質と抗菌剤の後処理により、ラナンキュラスではチオ硫酸銀錯体(STS)の前処理および糖質と抗菌剤の後処理により品質保持期間が延長し、日持ち保証が可能となります。
4. 30品目中全品目では5日間、22品目では7日間、また、16品目では高温で5日間の日持ち保証が可能となります。
5. 上記の成果を基に、日持ち保証に係る品質管理の総論と主要切り花30品目の品質管理法からなる「切り花品質管理マニュアル」（図2）を作成しました。



図1 チューリップの品質保持に及ぼす前処理及び後処理の影響
右：水
左：前処理+後処理



図2 品質管理マニュアル（表紙）

☆ 活用面での留意点

1. 前処理剤および後処理剤は購入可能で、切り花の生産者、市場関係者、小売店経営者、消費者等が使用できます。
2. 本マニュアルは、花き研究所のホームページ上でPDF版をダウンロードすることができます。
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/files/cb160bab2b4d663b9ba036741ffc9904.pdf
3. 詳しいことは、花き研究所（TEL：029-838-6801）へお問い合わせください。

（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏）